

メディアワールド

研究主題

情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成

横浜市立小学校
情報・視聴覚 研究主任様

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会員様

授業デザイン部会

実践提案 6年「互いの良さを認め合い、学びを深める放送教材の活用～NHK学校放送『いじめをノックアウト』を活用して

スキルアップ部会

部会研究 「児童が主体性をもって機器を活用するために
教員ができること」

平成27年度 9月号

[発行]

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育部会
会長 田中 公明

9月2日(水)に西公会堂にて各部会による会員研究行われました。

<授業デザイン部会>

提案者 : 武井三也先生

(青葉区 鴨志田緑小学校)

提案内容: 6年特別活動

「互いの良さを認め合い、学びを深める放送教材の活用～NHK学校放送『いじめをノックアウト』を活用して」

NHK for School「いじめをノックアウト」の「“空気”が読めないって悪いこと？」という番組を活用した実践提案が行われました。

「いじめをノックアウト」という番組は、子どもがいじめに対する思いや葛藤などを話し、それについてAKB48の高橋みなみさんが自分の意見を話すという構成になっています。視聴者は、同年代の子どもたちのリアルな声と高橋さんの意見に、共感したり違和感を感じたりしながら、自然といじめについて考え自分の姿を見つめることができます。

実践では「空気が読めない」ということについて一人ひとりの捉えが違うことに気づき、互いの思いを聞き合う中で多様な考え方に触れることをねらいとしていました。

年間を通して番組を視聴しており、子どもの振り返りを見ると回を重ねる度に変容が見られたことがわかりました。継続して視聴し話し合いを重ねることで、番組を見る視点を明確にもつことができたり、いじめに対する自己の考えを深めたりできることなどが成果としてあげられました。

<スキルアップ部会>

提案者 : 東森清仁先生

(保土ヶ谷区 常盤台小学校)

提案内容: 児童が主体性をもって機器を活用するために教員ができること

NTTコミュニケーションズの方をお迎えして、2020年に向けた教育の情報化政策についてお話を伺いました。

今後、学習者が場所や時間を選ばず、学習したいと思ったときに、いつでもどこでも様々なコンテンツが見られる環境になることが考えられます。そのような環境が実現すると、学習の幅が広がる反面、子どものICT活用を指導する能力が一層求められてきます。

グループディスカッションでは、「5年後のイメージはもてたが具体的に機器をどのように活用すればよいかわからない」「教師や子どもの活用能力差が広がるのではないか」「機器のメンテナンスはどうするのか」など不安の声も聞かれました。また、今後に向けてコンテンツの内容、操作性の吟味をすることや、先行事例の積極的な発信によってICT活用のメリットを多くの先生に伝える必要があることを確認しました。



次回予告

西公会堂

2015年10月7日水曜日 15:30～

各部会による会員研究が行われます。

多数の参加お待ちしております。



研究会HP QRコード



研究会HP <http://www.edu.cityyokohama.jp/sch/enkyu/es-ict/>

[編集] 紀要・広報担当 細野 友貴 (鶴見区 新鶴見小学校)